

# 土屋咲瑛

パースのない事務は

透明なこちらを

ずっと向いている



2026年 2月28日(土)~3月15日(日) 10時~19時

茨木市立ギャラリー

みるば

Socio1

茨木市役所本館 外壁

# ✓ パースのない事務は

## 透明なこちらを

茨木市立ギャラリーの収納庫で土屋が目にした光景、小さな備品や使用頻度の低い道具に至るまで、徹底して貼られた「茨木市立ギャラリー」のテプラの存在。几帳面で執拗な態度のなかに潜む「人間的な存在感と無機質さの同居」、すなわち「事務的な態度が持つ面白さの最たるもの」を見出したことが、今回の展覧会の出発点となっています。←

土屋はこれまでも、地図やグリッド、編み図、指示書など、完全な正面性（パースのなさ）を持つ対象と対峙する際に生じる没頭感や「自らの不在感」に着目し作品を制作してきました。本展では、そのコンセプトを深化させ、「パースのない事務」が持つ規則性や反復性、そして外部との解離がもたらす認知の変容をさらに探求していきます。茨木市立ギャラリーとともに、駅前ビルのショーウィンドウ、市役所の外壁など、まちなかでも展開される『パースのない事務は透明なこちらをずっと向いている』に是非ご注目下さい。←

### 展覧会

会期 2026年2月28日(土)～3月15日(日) 10時～19時

会場 茨木市立ギャラリー + みるば、Socio1 (2F ショーウィンドウ)、茨木市役所本館 北側外壁

※市役所外壁の作品は、天候によっては鑑賞できない場合があります

### アーティストトーク

本展覧会の招聘作家、土屋咲瑛とゲストに推薦者である伊藤 存氏を迎えてアーティストトークを行います。

日時 2026年3月8日(日) 14時～15時30分

参加費無料 ※要予約



会場 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) 1F 喫茶・食堂

ゲスト 伊藤 存 (美術家/京都市立芸術大学教授/2025年度 推薦者)

### 土屋咲瑛

1999年 大阪府生まれ

2024年 京都市立芸術大学大学院美術研究科美術専攻油画 修了

#### 【主な活動歴】

2021年 「隣の島」 MEDIA SHOP GALLERY 2 (京都)

「シェル美術賞展 2021」 国立新美術館 (東京)

2024年 「アートアワードトーキョー丸の内 2024」 行幸地下ギャラリー (東京)

「A-LAB Artist Gate'24」 A-LAB (兵庫)

個展「不可分な自分の領分→ぐるぐる」 ARTRO (京都)

「Kyoto Art for Tomorrow 2025 一京都府新鋭選抜展」

京都文化博物館 (京都)

2025年 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025」 京都新聞ビル 地下1階 (京都)

#### 【受賞歴】

2021年 「シェル美術賞 2021」 入選

2024年 「Kyoto Art for Tomorrow 2025 一京都府新鋭選抜展」

国際賞 ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川国際交流賞

2025年 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 マイナビ ART AWARD」 優秀賞

「第3回白髪一雄現代美術賞」

### 茨木市立ギャラリー企画展について

「茨木市立ギャラリー企画展」は、茨木市が美術家を招聘し、茨木市立ギャラリーにて開催する展覧会です。2025年度より、茨木市文化振興財団が受託したことを契機に、若手作家の実験の場として、毎年異なる大学の推薦者による若手作家の展覧会を開催していくことになりました。関西圏の芸大・美大の卒業生のステップアップの機会を創出することをめざし、自由度が高いとはいえない既存のギャラリー空間を逆手に取るような斬新な表現が生み出され、この展覧会を通してさらなる活躍につながっていくことを期待し、今回より「茨木市立ギャラリー企画展 [Via]」として展開していきます。

主催 | 茨木市

企画・運営 | (公財) 茨木市文化振興財団

アドバイザー | 雨森 信

### 会場へのアクセス

- 茨木市立ギャラリー／みるば (阪急茨木市駅ロサヴィア2階)  
→ 駅直結／南改札よりすぐ
- Socio1 (2F ショーウィンドウ)  
→ 阪急茨木市駅 西出口すぐ
- 茨木市役所  
→ JR 茨木駅から徒歩9分、阪急茨木市駅から徒歩10分
- クリエイトセンター  
→ JR 茨木駅から徒歩10分、阪急茨木市駅から徒歩12分



### お問合せ

公益財団法人 茨木市文化振興財団

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)  
文化事業係

TEL 072-625-3055 (10:00～17:00)